

# こぶしの花

Kobushi no Hana

青森中央学院大学  
青森中央短期大学  
青森中央経理専門学校  
青森中央文化専門学校  
認定こども園  
青森中央短期大学附属第一幼稚園  
認定こども園  
青森中央短期大学附属第二幼稚園  
認定こども園  
青森中央短期大学附属第三幼稚園  
中央文化保育園  
浦町保育園



晴れる日々  
撮 影：青森中央学院大学経営法学部2年 PHAM THANH HUONG

特集：e コマース実践活動

  
vol.88

目次

特集：e コマース  
実践活動 2

翔麗祭  
青森ねぶた祭り参加 4

青森中央学院大学 6

- ・青森商工会議所と連携協定を締結
- ・大学生防犯ボランティア指名書交付
- ・国際産直プロジェクトについて
- ・平成25年度前学期学位記授与式挙行
- ・創立記念フットサル大会
- ・スポーツ戦績
- ・国際交流センターより
- ・サークル・ライフ
- ・ゼミ探訪 ・OB 通信
- ・私の1冊 ・学長エッセイ
- ・待機児童問題を考える
- ・学生記者発

青森中央短期大学 10

- ・学生が「青森県産米を使ったレシピ」考案、テレビで紹介!
- ・「まるごと青森弁当2013」の販売
- ・PlayBonds セルクルの活動
- ・SESSIONS ON THE ARTS
- ・創立記念運動会
- ・福祉の総合専門職になるために
- ・開花式
- ・先生の自分史
- ・研究室を訪ねて
- ・読んで欲しいこの1冊
- ・卒業生も活躍しています
- ・あもり食育サポーター事務局
- ・学生記者発

附属第一・第二・第三幼稚園  
浦町保育園 中央文化保育園 14

- ・行事アルバム
- ・先生達活躍しています
- ・読み聞かせたい一冊の絵本

青森中央文化専門学校  
青森中央経理専門学校 16

- ・演劇「祝/言」衣装制作
- ・卒業生講話
- ・パソコン講座応用編
- ・文化公開講座
- ・経理発信情報
- ・ファッション通信
- ・おススメ図書
- ・卒業生ピックアップ

インフォメーション 18

- ・学生公演 12月21日開催!
- ・青森県福祉・介護人材確保緊急支援事業
- ・新看護棟・新2号館の進捗状況報告
- ・後期開催行事案内

特集 eコマース実践活動

新商品開発のため、パッケージデザイン、ネーミングを考え、ネット販売にチャレンジしよう・・・、これが本年5年目の節目を迎えたeコマースのコンセプトです。チームの活動を充実・強化するため、メンバーがそれぞれチームリーダー、営業、企画、調査、連絡の役割を担い、平成24年4月から、協力企業各社との打ち合わせ、商品提案、実売体験などの実務経験を重ねてきました。チームは10チーム、青森市内の協力企業各社と和菓子、かまぼこ、カシス、飴、せんべい、県産品詰め合わせなどの、青森中央学院大学生がプロデュースした商品が出来上がりました。

eコマースの中間発表会ではプレゼンテーションを経験し、アンケート調査、企画案を作成するなど、民間企業の業務の一端にもふれることができました。eコマースの活動は、山あり谷あり、途中さまざまな困難を乗り越え、ようやく最終ゴールの「Amazonネット販売」を迎えます。こうした貴重な経験がこれからのキャリア形成に生きてくると確信しています。(経営法学部教授 高山 貢)

■販売日程：平成 25 年 11 月 15 日～平成 26 年 2 月まで

■販売場所：Amazon.co.jp (<http://www.amazon.co.jp>)  
「青森中央学院大学 e コマ」で検索!



# eコマース チーム紹介

- ①商品名    ②チーム名
- ③企業からの課題

## ■チーム名：ねこまっしぐら

(鳴海春香・岡春奈・赤坂帆南・小形優紀子・葛野菜奈・平山彩夏)

私たちはあおりカシスの会の黒房すぐり(カシス)ジャムを商品化するために、パッケージデザイン、商品名、ビンの形を考えることになりました。企業の方との打ち合わせのなかで、カシスをヨーグルトなどと一緒に食べるだけでなく、ジャムを使った料理にも使えたらと思いレシピも考えることになりました。

また、ねぶた期間に三内丸山遺跡で実践販売を

行い、観光客の方々に多くの商品を買っていただきました。この経験を通してカシスの知名度の低さを感じました。青森市はカシスの国内主産地であるともっと多くの人に知ってもらえるよう、魅力的な商品づくりにチーム全員で取り組んでいきたいです。



- ①フルーツゼリーサンド  
「ゆきの華」  
(株式会社 翁屋)
- ②Jumping Aomori  
(山下宗一郎・今亮平・齋藤景一・千葉美輝・竹内里帆)

③お菓子の新商品開発・パッケージデザイン提案



- ①かまだこ/  
ふんわりロールかまぼこ  
(有限会社 丸高 高橋 蒲 銚 店)
- ②スリ☆ミラクル  
(須藤友英・葛西朝美・笹嘉奈子・久保咲絵・田中賢人)

③かまぼこの新商品開発・パッケージデザイン提案



- ①青いモーリー鉄道セット  
(青い森鉄道株式会社)
- ②e-コマーズ  
(三浦陵恭・鳴海杏亮・種市敏也・諏訪来輝)

③モーリーグッズの販売促進



- ①青森海鮮調理時短セット  
(一般財団法人 青森市物産協会)
- ②インナーマッスル  
(近藤北斗・三上見生・山館光平・遠田晟也・佐藤颯哉)

③食品・工芸品セット商品の提案



- ①あおりカシスのやさしい  
ピューレ  
(あおりカシスの会)
- ②EKH  
(豊島絵里菜・相馬伽奈子・浅利遥香)

③缶のラベルデザイン、内容量・販売方法の提案



- ①カシスコンポート  
(青森カシスファーム)
- ②カネゴン  
(佐藤将貴・工藤誠也・唐橋知志)

③ラベルデザイン・販売方法・PR法の提案



- ①林檎の2重奏  
(有限会社 上ボシ竹内製飴所)
- ②広告gain  
(櫛引一孝・中村麟太郎)

③組合せ・包装紙デザイン提案



- ①プリテオグリカン入り  
ゼリー3種セット  
(菓子匠 松栄堂)
- ②知名度アッパー  
(福士弘基・永澤柊東・水尻悠陽・横内大勲)

③お菓子の新商品提案



- ①ゴマ・ミソ・ボン  
(株式会社 富士清ほりうち)
- ②フリーダム  
(新岡葵太・桜庭泰羅・野坂鳳真・前田航輝・松岡幸輝)

③商品の売り方の提案



- ①黒房すぐりジャム  
(あおりカシスの会)
- ②ねこまっしぐら  
(鳴海春香・岡春奈・赤坂帆南・小形優紀子・葛野菜奈・平山彩夏)

③ラベルデザイン・内容量・びんの形の提案

# 翔麗祭 テーマ：きらめき希楽芽奇

9月14日(土)15日(日)開催





# 青森ねぶた祭り参加



# 青森中央学院大学

## 青森商工会議所と連携協定を締結

7月2日、青森商工会議所と青森中央学院大学を含む、青森地域5大学（弘前大学、青森県立保健大学、青森公立大学、青森大学、青森中央学院大学）との間で、連携協力に関する協定が締結された。

協定は青森商工会議所と大学の密接な連携と協力により、大学の「知」を活かし、地域課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的として、①地域産業振興、②中心市街地活性化等の地域活性化、③産学連携、④健康福祉の増進、⑤人材育成等の分野で連携・協力について、取り組んでいく。

具体的な取り組みとしては、中心市街地活性化事業の一環として、青森市内の公共施設等を会場として、青森商工会議所と共催した公開講座「まちなかキャンパス」事業等を開催していく。



## 地域マネジメント研究所国際産直プロジェクトについて

4年目を迎えた地域マネジメント研究所による「国際産直プロジェクト」であるタイからのマハチャノマンゴー輸入販売活動では、輸入量の拡大や二次加工による商品開発、参加学生による組織作りと運営など、多様な取り組みが行われた。以下は関わった学生の声である。

今年は一年生の参加に伴い、コミュニケーションの円滑化が重要だと考え、昼食会を開催するなどしてプロジェクト外の時間も活用しました。その結果、取組成果の報告会も開催でき、まとまりのあるものになりました。（経営法学部2年 山下 宗一郎）

私たち商品開発グループは、マンゴーアイスを開発しました。完成したアイスはタイと本学の友好を願い、「サワディ・カップ」と名付け販売準備を進めています。お楽しみに！（経営法学部2年 千葉 美輝）

商品の取り扱いやプレゼンの難しさ、そして先輩や職員の方々、友達と出会えたことがかけがえないものだと思います。この貴重な経験と人のつながりを大事にして行こうと思います。

（経営法学部1年 佐野 将平）

## 大学生防犯ボランティア指名書交付

青森県警察では、若い世代による自主防犯活動として、県内の大学生による学生防犯ボランティア団体「Aomori Public Peace Maker（アオモリ・パブリック・ピースメーカー）」を平成22年度から組織し、県内の3地区（青森、八戸、弘前）で活動を行っている。その平成25年度の新メンバーの指名書交付式が7月18日、本学にて行われた。新メンバーには青森中央学院大学・青森中央短期大学生15名が含まれている。

指名を受けたボランティアメンバーは、今後防犯に関する啓蒙活動、子どもの見守り、警戒活動などの様々なボランティア活動を実施していく。

なお、引き続きボランティア学生の登録については、随時学習支援課で受付している。



## 平成25年度前学期学位記授与式举行

9月18日、青森中央学院大学・大学院の平成25年度前学期学位記授与式が举行され、この日のために来日されたご家族の臨席のもと、花田学長より経営法学部経営法学科11名、大学院地域マネジメント研究科1名に学位記が授与された。

式では、花田学長からの式辞の後、在学生代表のチン・リーリンさん(マレーシア)より歓送の言葉があり、卒業生からは李 露君(中国)が代表として、感謝の思いが述べられた。

式終了後、卒業生の胡 果さんの司会により卒業祝賀会が催され、卒業生はお世話になった教職員と留学生活の思い出を語り合い、また壇上では一人ひとりが卒業の実感をかみしめながら、大学生生活の楽しかったことや辛かったこと、教職員への感謝の気持ち、将来の抱負などを語った。会場には後輩の留学生も多数駆けつけ、教職員とともに卒業を祝う会となった。



## 創立記念フットサル大会

6月22日土曜日、本学体育館において創立記念祭にちなみ、学友会主催のフットサル大会が行われた。ゼミや有志で結成された6チームによるチーム戦で行われ、白熱した試合が繰り広げられた。中には留学生メンバーで構成されたチームもあり、本格的な試合となった。女子学生も少ないながらも奮闘、先生方も一緒に参加するなどたくさんの熱い声援が送られた。熱戦の結果、優勝チームは留学生のチームで、3万円の商品券、花田学長から副賞としてドリンクが贈呈された。惜しくも優勝できなかった他の5チームも1人1人が活躍し、チーム間の絆を深めるいい機会になったのではないだろうか。

創立記念祭はドッジボール大会が恒例となっていたため、主催者側としては多少不安もあったが、ケガ人を出すことなく無事に終えることができたことは何よりだった。また、留学生チームの参加ということもあり、国際交流のいいきっかけとなったであろう。今後も、学年や国籍を越えて交流できるような創立記念祭が行われることを期待している。

(学友会会長 藤田 彩花)

## スポーツ戦績

### ■ボクシング部

第41回東北地区大学ボクシングトーナメント大会

- ・学校対抗優勝
- ・ミドル級優勝 佐々木 将太郎 (経営法学部4年)
- ・ウェルター級優勝 浅沼 悠太郎 (同1年)
- ・ライトウェルター級準優勝 大坂 翔太 (同1年)
- ・ライト級優勝 三上 大城 (同4年)
- ・バンタム級優勝 水野 弘樹 (同1年)

### ■ボウリング部

第40回東北総合体育大会

- ・成年男子個人戦第3位 工藤 純一郎(経営法学部4年)
- ・成年男子4人チーム戦第3位 青森県  
工藤 純一郎 (経営法学部4年) / 工藤 壽紀 (同1年) / 長尾 昂樹 (同3年)
- ・成年女子4人チーム戦優勝 福島県  
斎藤 あ咲 (経営法学部3年)

### ■ハンドボール部

第68回国民体育大会ハンドボール競技会 青森県選手選考会

- ・成年男子 第3位

### ■バスケットボール部

第30回青森県会長杯争奪バスケットボール大会

- ・男子の部 第3位 / 女子の部 第3位

## 国際交流センターより

### 公式 Facebook ページ開設

5月13日、国際交流センターは、

- ・海外からの入学希望者への情報発信
- ・留学生から母国への情報発信
- ・日本人学生の海外留学促進
- ・留学生と日本人学生の交流促進
- ・留学生の保護者や協定校等への情報発信
- ・卒業生との連携、青森サポーター事業との連携、同窓会組織作り

等の目的で公式Facebookページを開設した。

様々な情報や学生の活動などを公開していきたいと考えている。ぜひご覧いただきたい。

国際交流センター公式Facebookページ：

<https://www.facebook.com/acguiecc>

### 海外の教育機関との協定締結

平成25年度に入り、以下の教育機関と協定を締結した。今後、積極的に交流を促進していきたい。



《台湾》南台科技大学学術交流協定締結(5月18日)

《ベトナム》チュウヴァンアン高校MOU締結(5月27日)

《台湾》南開科技大学学術交流協定締結(5月27日)

### 泰日工業大学に短期留学

青森中央学院大学と協定を締結しているタイ王国泰日工業大学の「サマープログラム2013」に日本人学生2名が参加し、貴重な国際交流を体験した。

期間：2013年8月22日～9月2日

主なプログラム：

泰日工業大学の学生と行う国際交流活動 / 泰日工業大学の学生宅でのホームステイ / マングローブ植林活動・現地タイ小学生との交流活動・タイの歴史・文化の学習・現地日系企業訪問・タイ語レッスン参加者：

加藤 雅也 (経営法学部3年) / 柳谷和孝 (同3年)



## サークル・ライフ Vol.6

### アカペラサークル

アカペラサークルは、一昨年にできた、比較的新しいサークルである。16名で活動している。

1曲を5～6人のチームに分かれて演奏する。楽器を一切使わずに、リズムやメロディーを奏でられるのが魅力である。

学園祭や卒業祝賀会などの学校行事、軽音楽サークルやアンサンブルサークルとの合同演奏会「虎ノ門」、また去年は、イトーヨーカドーで行われた献血キャンペーンへ参加するなど、活動の場を広げ、様々な場面で演奏している。去年は、全国のアマチュアのアカペラ大会にも出場した。

普段はこれらの発表に向け、楽しい雰囲気での練習を重ねている。月曜日(17:40～) 金曜日(16:00～)に921教室で活動しているので、興味のある方は、ぜひ一度、見学してみてください。

(学生記者  
相馬 伽奈子)



## 私の1冊

### 木村 隆雄 先生

『1時間でわかる 図解 ビッグデータ 早わかり』  
大河原克行著 (中経出版, 2013)

マーク・ワイザーが“ユビキタスコンピューティング”の時代を予見してから20年余り経ち、それが現実のものとなろうとしている。スマートフォンの急激な増加やそれに伴うソーシャルメディアの利用拡大、さらに白物家電にまで組み込まれたセンサーやICタグにより、日々、全世界で2.5EB(エクサバイト)ものデータが発生している。これまで人類が生成してきたデータの総量は、2009年の0.8ZB(ゼタバイト)から、2020年には35ZBと44倍に拡大すると推定されている。そのデータの80%は、ネット検索履歴・位置情報・SNSへの書き込みといった非構造化データ(従来のコンピュータが処理するのに適さないデータ)だが、コンピュータがその巨大なデータを処理する能力を持ち、その価値に気づいた人達によって利用されるようになってきた。マーケティング・新サービスの創出・リスク管理など、新しいビジネスの創出のチャンスです。チャレンジしてみたらいかがか。

## ゼミ探訪～大泉常長ゼミ～ Vol.25

大泉先生の専門は、主に国際危機管理、国際経営管理である。テロリズムやポリティカルリスクを取り扱っている。



活動内容としては、コンビニやファストファッションなど学生たちに馴染みのある業界における海外展開などを事例に研究を行う。コンビニを例として身の周りから理由づけをし、人を呼び込むための工夫を学生自身が考え、表現してもらう。また課外ゼミでは、外国人が経営しているお店での食事会や、学園祭で模擬店を出店することでビジネスを疑似体験している。

大泉ゼミでは、世界に関心を持ち、視野を広げようことを求めている。そして、ゼミ内でふれあい、仲間の大切さを知り、異文化に対して興味を持って、そこから日本の良さを学んでほしいとのことである。見学も大歓迎であるので、興味がある方はぜひ研究室を訪れてみて欲しい。

(学生記者 豊島 絵里菜・久保 咲絵)

## OB 通信



拝啓 青森中央学院大学様

私は、2011年に卒業し、現在は青森県総合社会教育センター指定管理者日本人財発掘・ビルネットグループ職員として県民の生涯学習を支援する仕事をしています。主に講座などの企画、ボランティアの活動、研修室の貸館の管理を行っています。

学生時代に鈴木ゼミで学んだことやe-コマースなどキャリア授業の経験、キャリアサポートでの活動が活かされ日々の業務に取り組むことができ、指導して頂いた先生方に感謝しております。

後輩の皆さんに伝えることは、『時間』を大切にすることです。学生時代は遅刻・早退や提出物の遅れや何か活動する上で「学生だから」と許されたことがたくさんありました。社会人ではそんな甘えはありません。提出物が遅れてしまえば契約が成り立たない。仕事を進めていく中で自らいつまでにやるか考えなければなりません。学生時代と比べ時間があるわけではありません。限られた時間の中でいかに有効に使うか。学生の皆さん今しかできないこと、遊ぶ時は遊ぶ、勉強する時は勉強する、『今』を楽しみ、残りの学生生活を過ごして下さい。

敬具

経営法学部10期生 笹森 麻妃

## 学長エッセイ「スーパームーン」

青森中央学院大学学長 花田 勝美

灯りのついていない子供部屋がいつになく明るく、まるで真昼のようであることに驚いて空を見上げました。満月とそれに映し出された町内が青く浮かんでみえています。さっそく、ベランダに出て、一杯のウィスキーを月にかざし、月の光で琥珀色に輝く酒を飲み干しました（写真）。後でわかったことですが、前夜の6月23日の満月が「スーパームーン」と呼ばれる月でした。一日遅れでしたが、まだまだ見事な満月と共に過ごすことができました。今年「つき」があるかも知れない？

「スーパームーン」は、楕円軌道を回る月が、地球に最も接近したときに起きる現象。通常の満月に比べて大きさが14%、明るさが30%増すといわれています。23日午後8時すぎに月と地球の距離は約35万7千キロ、満月のタイミングとも重なったため、とびきりの「スーパームーン」となった由です。

「月映えし スコッチグラスの 宇宙の心」、おそまつでした。



## 待機児童問題を考える

鈴木克成ゼミでは青森地方法務局人権擁護課からの依頼で、東北人権擁護委員連合会男女共同参画社会推進委員移動研修会にて「待機児童問題を考えるー男女共同参画の時代 どうする？仕事と子育ての両立ー」というテーマの模擬ディベートを披露した。未来世代の労働力再生産支援枠組みとして何が適切か、①社会的支援(認可保育園増設等)、②市場サービスへの移行(認可規制緩和等)、③家庭保育のサポート(育児休暇制度等)の3班に分かれ、その可能性や問題点を相互検討した。現実にはこれらは混在するが、国や自治体で枠組み検討の際、どこに重きを置くかでしばしば対立が起きる。実効性ととも重要なのが、これらの背後に①社会的公平性(誰でも受益者に)と市民的自由(多様な生き方)の尊重、②最大多数の最大幸福(国家や自治体財政健全化)と経済的自由(競争による活性化)の尊重、③道徳(子は親[母親]が育てるべき)の尊重といった原理があることだ。討論はA T Vニュースワイドで報道された。



## ～若者歩き～ Vol.5

皆さん、猫はお好きですか？猫が飼いたくても飼えない。猫が大好き。今回はそんな皆さんに猫と触れ合える、素敵な空間猫カフェを紹介したいと思います。

今回紹介するのはサンロード青森西出入口のタクシー乗り場の向いにある猫カフェ「ぼんぼろ」です。営業時間は日曜～木曜11時から17時まで、土曜11時から19時まで、金曜は定休日です。フリードリンク付きで30分500円、それ以降10分につき+100円です。飲食物の持ち込みもできるので、お昼休みにお弁当など食事をしながら猫と過ごすことが出来ます。

猫カフェ「ぼんぼろ」は特定非営利活動法人「アニマル・サポート青森」が運営していて、ここにいる猫たちは、捨て猫や野良のお母さんから生まれた猫たちです。アニマル・サポート青森は、捨て犬や捨て猫の飼い主探しや、セラピードッグの推進などの活動を行っています。

猫を飼ってみたい方、そうでない方も可愛い猫たちに会って癒されてみてはいかがでしょうか。

(学生記者 久保 咲絵・  
豊島絵里菜)



## ♪トレンドキャッチャー♪ Lv.5

もう季節は秋ということもあり「食欲の秋」「スポーツの秋」などの言葉をよく耳にしますが、今回のトレンドキャッチャーでは「映画鑑賞の秋」ということで、僕のオススメの映画を紹介したいと思います。

・「ブラッドダイヤモンド」この映画は1990年代後半のアフリカ、シエラレオネでの激しい内戦を描いた社会派アクション映画です。“ブラッド・ダイヤモンド”というダイヤモンドの不正な取引をめぐる起きる不毛な争いをサスペンスフルに描いています。人間にとって本当に価値あるものは何なのか？がこの映画のテーマでありレオナルド・ディカプリオが主演です。最も観ていただきたい作品です。

・「ショーシャンクの空に」この映画は有名なのでみなさん観たことがあるかも知れませんが、冤罪によって投獄された有能な銀行員が、腐敗した刑務所の中でも希望を捨てず、懸命に生き抜く姿を描いた作品です。ラストのシーンは驚きあり感動あります。モーガン・フリーマンの演技も渋すぎます。

まだ他にもオススメの映画はあるのですが今回はこの2つをオススメします。時間があれば是非観てください。  
(学生記者 齋藤 景一)

# 青森中央短期大学

## 学生が「青森県産米を使ったレシピ」考案、テレビで紹介！

青森米本部は現在、青森県産米の需要の拡大等を目的に、青森テレビにて「青森 de Mori-Mori Kitchen」という番組を作成している。内容は、県内飲食店舗のプロの料理人が考案した「青森県産米を使ったレシピ」を実演し、更にそのレシピをHPで紹介するもの。今回、より視聴者に身近で気軽に作れるレシピの作成をと、食物栄養学科に依頼が来た。参加希望者は2学年で17名となり、11品のレシピが考案された。その中の5品が、実際に本学の121実習室にて収録され6～8月にわたり放映された。

### ■紹介レシピ：

- 「ころころかわいいライスコロケ」(2年 成田香菜)
- 「かに風味麻婆丼」(2年 大畑瑞希)
- 「豚肉のさっぱり巻き寿司」(2年 石岡里菜・半田千晶)
- 「おつまみライス餃子」(1年 坂田理奈・新谷千秋)
- 「簡単！冷やしぶっかけ飯」(1年 岡元未津希・金川あかり)

※レシピは青森テレビHPにて閲覧できます。

(<http://www.atv.jp/corner/index.cgi?cid=9>)



## PlayBonds セルクルの活動

障がいのある子どもの運動あそび教室を定期的で開催する『PlayBondsセルクル』は、昨年度誕生した新しいサークルです。講義の中で紹介した活動を自分達も実際にやってみたくと、当時の幼児保育学科の学生達が創部しました。とはいえ、それまで何の経験もなかった事から、学生達は仙台で行われている同様の教室に自主的に参加し、実際に運営に携わるなどの経験を重ね、今年2月によりやく最初の教室開催に漕ぎ着けました。

企画から運営までをすべて自分達の手で行うことがこのサークル最大の特徴であり、開催場所の確保をはじめ、使用する物品の借用手配や教室の周知宣伝活動なども学生達が外部と折衝を行うなど、サークル活動を通じた社会経験や苦労も多く重ねてきました。そんな学生達を誇りに想うと共に、今後も顧問として出来る限りのバックアップを行っていきたくと考えてます。

(PlayBondsセルクル顧問  
伊藤 弓月)



## 食物栄養学科の学生考案による「まるごと青森弁当2013」の販売

産(イトーヨーカ堂)学(青森中央短期大学)官(青森県農林水産部総合販売戦略課)連携の「地産地消」の取り組みの一環として、青森中央短期大学食物栄養学科の1・2年生が考案した弁当が、昨年に引き続きイトーヨーカ堂で販売された。期間はイトーヨーカドー「青森フェア」期間中の6日間(9/11～16)。今年は「日本一の短命県」の汚名返上のための人材育成事業「あおり食命人」の研修会を経て、登録を受けた食物栄養学科の教員が指導。野菜の摂取量が少なく、塩分摂取量が多い青森県民の実情を踏まえ、学生の考案した献立の中から野菜の使用が多く、かつ減塩の工夫がされ、更に「煮干だしの煮しめ」などのこれからも伝承していかなければならない青森の食文化を取り入れた内容となった。



## SESSIONS ON THE ARTS 2013 響感 アート交流地点

今年度のSESSIONS ON THE ARTSでは「グループかぜ」をお招きし、「語りと音楽」と題し、子供から大人まで楽しめる素敵な朗読の時間を過ごした。

「グループかぜ」の谷京子さんの語りは、心をリフレッシュさせてくれる癒しの声のトーンであり、日本語の美しさに気づかせてくれる豊かな言葉の力を持っていた。さらにピアノの優しい音色が加わることでお話しの情景がより鮮明に呼び起こされ、谷さんの朗読に観客は聞き入っていた。また、谷さんの絵本の読み聞かせに、幼児保育学科の学生が熱心に学ぼうとする姿も印象的であった。

(幼児保育学科助教 立崎 博則)



## 創立記念運動会

6月1日に創立記念行事として運動会を開催し、玉入れ、綱引き、二人三脚、障害物競争の4つの競技で熱い戦いが繰り広げられました。今年も、学友会会員が一丸となって企画、準備しました。皆で何度も話し合って取り組み、とても充実した運動会になったと思います。勝利に向けて、各クラス毎に一致団結し一生懸命戦ったことは、学生生活の中で忘れられない思い出の一つとなりましたし、そこで深めた絆は、今後の学生生活の中でも必ず役に立つと思います。

この創立記念行事がこれからの学生生活に少しでも良い影響を与え、授業や実習の活力へとつながることを願っています。 (学友会会長 藤本 幸智)



## 福祉の総合専門職になるために

### ～保育士養成課程修了者のみのチャンスです～

現在、保育士養成施設で保育士資格を取得した方が、介護福祉士取得をめざす場合、本学専攻科福祉専攻で学ぶことで国家試験が免除され、卒業時に資格が取得できます（ただし法改正により、2015年度入学者からは、国家試験が義務づけられています）

専攻科福祉専攻では、保育士として学んだ理論および実践をベースに、さらに高齢社会の介護ニーズに応えるため、介護の専門的知識、技術、理論等の理解と実践力を身につけた、介護福祉士を養成しています。実践力が身につく、高齢者の自立や残存能力の維持、リハビリテーションやアクティビリティ活動を学ぶ科目を設定、介護や福祉に問題意識を持ち、学生自ら課題解決に取り組む授業で、質の高い介護福祉士を養成します。

歌・踊り・造形表現ができる明るい保育士が、その能力を発揮し、高齢者とあたたかな心を通わせ、共に考え、工夫し合い、『心の通い合う介護』をめざします。 (専攻科福祉専攻主任 中村 純子)

## 開花式

8月2日、看護学科の第7回開花式が行われました。本格的に看護の専門領域の実習が始まる前に行われる決断式です。

2年生85名は顔写真と理想の看護師像をパワーポイントで披露しました。厳かな雰囲気の中、ナイチンゲール像から自分のキャンドルに火を灯し、その後全員で「ナイチンゲール誓詞」を斉唱しました。初心にかえり決意を新たにしていって気が引き締まったようです。壁にぶつかった時には、開花式での誓いを思い出して乗り越えて行くことを願います。そして日々努力して理想の看護師像に近づくことを期待しています。

### 開花式に臨んだ学生より

8月2日、私たち7期生85名は開花式を迎えることができました。開花式は看護の道へ進む者としての志を新たにすることを記念となる行事です。今年も7期生の強い思いにより式の開催を実現することができました。

式典では、学生1人ひとりがナイチンゲール像よりキャンドルの灯火を受けとり、85名全員のキャンドル

ルが灯された後にナイチンゲール誓詞を斉唱し、さらなる看護の道を進むべく決意を新たにしました。

今ここに開花式を終え、私たち7期生は看護師への第一歩を踏み出した喜びとともに、その責任の重さを感じ身の引き締まる思いです。これより病院実習に臨むこととなりますが、この思いを絶やすことなく看護技術や知識の向上に努めていきたいと思っています。 (看護学科2年 佐藤 圭)



## 先生の自分史「縁-えにし-に支えられて」

## 看護学科 石岡 桂子 先生



どんな職業に就こうかと考えていた高校3年生になる前の春休み、新聞を読んでいて「助産師」になりたと思った。そして先ずは看護師になった。曾祖母が助産師になることを勧められていたが断っていた、という事実を助産師になってから知った。そして働いてから約10年後に先輩から声をかけていただき教員となった。そして、精神障がい者と出会い精神保健福祉士になった。それが縁で今私はここ（精神看護学領域）にいる。

ドイツに旅行した時に「和」の素晴らしさに気が付き、師範だった祖父の影響もあり、謡曲に親しむようになった。これをきっかけに歌舞伎や合気道などの日本の文化に触れ、この文化を絶やしてはいけないと思うようになった。

今、「病んでいる」と言われる社会を立て直すために私ができることは何かを考えた。職業としてきた看護と趣味の日本の伝統文化を融合させ後世に伝えられるような教育ができたらと思っている。

## 読んで欲しいこの1冊

食物栄養学科 田嶋 知宏 先生『地球の食卓』  
ピーター・メンツェル、フェイス・ダルージオ著(TOTO出版,2006)

あなたは、毎日食べているものを他の人と比べたことがありますか？意識して比べることはそう多くないと思います。ましてや海外の人たちの食べているものと比較することは少ないでしょう。この本は、世界の様々な国の家族と家族の食べる1週間の食品、食事風景を写したポートレートやその家自慢の料理のレシピ、「食」の問題を提起するエッセイなどが収録された写真集です。

それぞれの食生活は僅かな食材の難民キャンプの食卓、野菜の目立つインドの食卓、パッケージされた加工食品の目立つアメリカの食卓に表れています。一家食卓に並べられた食べ物を眺めてみるとわたしたちが食べているものの特徴も実感できるでしょう。写真集ですから、読んで欲しいのは、文章よりも、ポートレートの背景にある「食」にかかわる文化的背景、食品流通の状況、社会経済的な問題です。それを読み解くことで、あなたの食事は世界の人から見るとどう思われているのか、そんな気づきを与えてくれる一冊です。

## 研究室を訪ねて Vol.6

## ～大橋誠・立崎博則研究室～

私たちの研究室では、子どもに馴染みのある絵本・玩具のことや、親と子の関わり、親が及ぼす子どもへの影響などについて研究しています。現在、それぞれの関心に基づいたテーマを決めて調べています。研究を進める上での調査には、パソコンを主に用います。また、研究対象である子供たちの気持ちを考えるために、皆で絵本を読み、自分たちの考えを話し合ったりしています。

所属している学生は11名で、みんな明るく個性的です。知識豊富な先生方からの助言をいただき、研究を進めています。日頃は研究センターの生活ですが、時々メンバー全員でのイベントも企画します。研究以外でもみんなで仲良く活動しているのが、大橋・立崎特研の魅力です。これからも、自分たちの納得がいく研究となるよう、がんばりたいと思います。

(蝦名 花衣、  
紫崎 樹香、  
吉岡 杏菜)



## 卒業生も活躍しています

看護学科2期生 青森市民病院勤務  
柿崎 はるなさん

私は青森中央短期大学看護学科を卒業後、青森市民病院 循環器・呼吸器内科 心臓血管外科に勤務しています。今年で4年目になりました。

勤め始めた時は、先輩看護師からいろいろとご指導を受けて仕事を行っていましたが、今では先輩として新人に教える立場になりました。リーダー業務や重症な患者さんを受け持つ機会も多くなり、心臓カテーテル検査の介助、ペースメーカー植え込み術の器械出しなども担当しています。

日々覚えることはたくさんありますが、少しずつ成長していると実感でき、青森市民病院で働くことができていることに良かったと思っています。



## キャンパス再発見 Vol.5

今回ご紹介するのはこの学園を流れている川についてです！

最近では小鳥達が川にいるのをよく見かけるようになりました。

私は学校に行く途中に寄り道して小鳥達にパンをあげるのが日課になってしまっています。この学園には色々な種類の小鳥達がいるようでとても綺麗な小鳥達を見ることができます。この前もこの学園の川に2匹の可愛いおしどりがありました。

私が聞いた話では学園の川に魚がいるとも聞いています。こんな川に魚がいるのかと驚きました。この学園は私達が思っているよりも自然に溢れているのかもしれない。

普段は見渡す余裕がない私達ですが、少し寄り道してこのような風景に癒されてみてほしいのかもしれない。

(学生記者 平井 麗奈)



## 謎に包まれる寮生の生活 Vol.5

今回の謎に包まれる寮生の生活では、学術交流会館のルームシェアを紹介します。

学術交流会館には各学生寮の中で唯一、二人部屋があります。キッチン、トイレ、お風呂は共同ですが、それぞれの部屋は仕切られているので、プライベートは守られています。

学術交流会館は大学から近いので通うのに便利です。朝は余裕を持って登校することができます。門限は23時なので、授業が終わったあとは買い物に行くなど、自分の好きなように生活しています。

ルームシェアは一人じゃないので助け合うことができます。学術交流会館は寮といっても自由なので自分のペースで生活しています。(学生記者 倉内 実来)



## 1人暮らしのレシピ Vol.5

一人暮らしだと授業やバイトなどで忙しく、食生活が偏りがちです。忙しい学生生活の中、簡単に作れて野菜をたくさん食べられる、野菜ときのこのバターじゃよう炒めのレシピを紹介します。作り方は以下の通りです。

アスパラの皮とはかまをピーラーでむき、しいたけは軸を切り薄切りにします。にんじんは皮をむいてイチヨウ切り、ピーマンは0.5センチ程に薄く切ります。フライパンにバターを熱し、切った野菜ときのこを加えて炒め、しょうゆ、塩、こしょうを入れ、加熱して完成です。

野菜に味が付いているため、野菜が嫌いな人でもご飯と一緒においしく食べることができると思います。また、今回使った材料に限らず、家に余っている野菜を加えて調理することができるので、家に野菜が余っていたらぜひ、自分に合ったアレンジをしてみてください。

(学生記者 信太 佑木子)



## あおもり食育サポーター事務局

あおもり食育サポーター事務局は新体制になり2年目を迎えた。徐々に当事務局の活動が周知され、青森県内各地において様々な食育の支援を行っている。

この事業に携わり日々「食育」の幅の広さ、奥の深さを痛感している。栄養バランスや農産物、食文化、食事マナーについてはもちろん、咀嚼・虫歯、排便、さらには手洗いなどの衛生管理まで「食」につながるありとあらゆることが「食育」になるのである。初めはこんなことまでやるのかと思う時もあったが、今では「食」について色々な角度からアプローチできることにやりがいを感じている。

「食」は身近なものであるからこそ、その大切さを知ることが大事である。そして食育活動は「人」と「食」をつなぐ役割を担うとも考える。だからこそ対象者に楽しく、興味を持ってもらえるように色々な趣向を凝らしながら今後も食育活動を行っていきたい。

(あおもり食育サポーター事務局 森山 洋美)



# 附属第一・第二・第三幼稚園 / 中央文化・浦町保育園

## 思い出いっぱい合宿保育

7月18・19日、大学の体育館・グラウンド・第一幼稚園を会場にして、年長さん137名の合同合宿が行われました。初めてのお泊り保育で、みんなわくわく・ドキドキでした。お母さんのお手伝いもなく、何でも自分達の力でしなければならないので、真剣に取り組んでいました。他園のお友達とのゲーム合戦、力を合わせてのねぶた絵への色付け、きれいな花火の鑑賞など、沢山の体験は忘れられない思い出となったことでしょう。どの子も一段と強くたくましく成長して帰りました。



ともだちいっぱい  
うれしくて!!  
たのしくて!!



きれいな花火に  
大きな歓声!!



## 先生達活躍しています 第10回

### 幼稚園教諭から保育士へ



認定こども園 附属第一幼稚園ばんびくらぶ

#### 須藤 美智子先生

幼稚園教諭として10年、保育士として4年目を迎えました。小さなかわいい笑顔に囲まれて、充実した日々を過ごしています。

幼稚園教諭から保育士へと仕事が変わった事で、自分の保育を見つめ直すことができました。そして、親元を離れ、不安で淋しい思いをしている子ども達に、家庭的な雰囲気の中で、ゆったりしたやさしい気持ちで触れ合い、一人ひとりの成長を見守りながら、その子に合った保育指導を心がけるようになりました。自己主張をしたり、大泣きしたり、甘えたり、けんかをしたり、トラブルも色々ありますが、これらの事も、子どもの成長につながっていると思います。この仕事では、子ども達の成長を身近で感じる事ができることや、泣いている子どもが、抱っこしてあやしている内に泣き止み、笑顔を見せてくれた瞬間、心が触れ合い通じ合えたという感動でいっぱいになり、喜びを感じます。これからも、子ども達の成長の一助となるよう、がんばっていききたいと思います。

### 幼稚園教諭として



認定こども園 附属第三幼稚園

#### 藤井 つばさ先生

幼稚園教諭になり4カ月を迎えました。少しずつではありますが仕事にも慣れ、また先生方にもたくさん助けられながら充実した毎日を送っています。今は第三ばんびくらぶの子ども達と一緒に日々成長し、たくさん経験をしています。

入園したての頃の子ども達はお母さんやお父さんから離れるのを嫌がり、お部屋でも泣いて過ごしていることが多くありました。ですが、少しずつ一人ひとりのスピードでばんびくらぶに慣れ、今では子ども同士で名前を呼び合いおもちゃと一緒に遊んだり、体操をしたり、お歌を歌ったりと毎日楽しく活動しています。また、2歳児になると身のまわりのことを一人でやれるようになり、何事にも一生懸命取り組んでいます。

子ども達の笑顔がたくさん引き出せるような保育者をめざし、これからも頑張っていきたいです。

### 豊かな心が育つように



認定こども園 附属第二幼稚園

#### 上野山 凜先生

4月に年長のりんご組の担任となり、早くも4カ月が経ちました。日々の保育や行事を通して子ども達と関わりながら、「今日、楽しかった」という思いが子ども達の心に残るような保育を心がけてきました。

りんご組には夏休み中に、県外に引っ越してしまう園児がいました。そのお話を聞いた時、私はその園児に何をしてあげられたか、伝えたいことが十分に伝えられたか、改めて自分と向き合い考えてみました。年長さんは大切な成長期ですので、子供の心をよく把握していきたいです。

いつも、「相手の気持ちを考える」ことができるようになってほしいと思いながら、活動の支援やケンカの仲裁に入ったりして保育しています。私の思いが少しでも子ども達に伝わってほしいです。そして、たくさんのお友達や先生と関わり合いながら、心豊かに育つよう、精一杯援助していきたいです。

## 読み聞かせたい一冊の絵本

### 浦町保育園 川越 梢先生『ねむくまのうた』

戸田和代 作・たかすかずみ 絵 (岩崎書店, 2010)

野原に住む、はなおばあさんと動物たち、孫のこむぎが登場します。はなさんは1人暮らしで「さみしくないの?」と聞かれますが、「へいき へいき」と答えます。なぜなら、時々動物のお客さまがくるからです。

孫のこむぎは1人で電車に乗っておばあさんの所に遊びに行きます。おしゃべりが大好きで、みんなにお話をするのですが、動物たちは恥ずかしがり、なかなか話してくれません。そんな時、秋の外を見たくまが、はなさんの歌う子守歌を歌ったのです。この歌をみんな気に入って盛り上がります。そのうち冬になり、雪が降って窓の向こうは何も見えなくなります。さすがのはなさんも心細くなりますが……。

はなさんの語りもユーモアを交えながらも、とてもやわらかく、隣でお話してくれているかのようです。そして、読み終わった頃にはおばあさんに会いに行きたくなるお話です。



# 青森中央経理専門学校・青森中央文化専門学校

## 演劇「祝／言」衣装制作

青森中央文化専門学校では、平成25年10月～平成26年1月に上演予定の日・中・韓 国際共同制作作品 演劇「祝／言」の舞台衣裳デザインと制作に4月から携わっている。

8月20日～24日、仮縫い衣装のフィッティング・補正と生地購入の為、学生4名と開演会場の青森県立美術館担当者が韓国・ソウルへ渡航した。メインデザイナーの目賀田佳奈さん（専門課程2年アパレル専攻）は、「国を越える壮大な世界観が表現できるよう精一杯頑張ります。」と抱負を述べた。



## 卒業生講話

7月5日、学術交流会館2階921教室において、在校生を対象とした卒業生講話を実施した。

今年度は平成20年度に卒業した卒業生2名による講話となった。現在、ベテラン社員に向け毎日一步一步頑張っている2名は、学生時代の就職活動、勉強方法、特に頑張った教科等、当時を懐かしみながら振り返ると共に、社会人となってからの大変だった経験や現在の目標としている事などについても触れた。

また質疑応答では、卒業生からの丁寧な回答と力強いアドバイスを受け、就職活動中の2年生と間もなく就職活動する1年生それぞれが、自分のプラスになるヒントを得たことだろう。



## パソコン講座応用編

8月29日・30日の二日にわたり、青森中央経理専門学校では青森県総合社会教育センターにてパソコン講座を実施した。この講座は、昨年12月に同所にて入門編を実施した際、参加者より応用編を開催して欲しいとの声を受けて実施したものである。

1日目はWordを使い、ポスターやホームページの作成を実施。2日目はExcelを使い関数を使用した住所録の作成と、グラフを織り混ぜた健康記録表を作成した。両日とも学生がアシスタントとして参加し、参加者に分かり易く操作の説明を行っていた。11月2日には、Wordを使った年賀状作成講座を実施する。



## 文化公開講座

青森中央文化専門学校では、8月10日、16日、17日の全3回にわたりファッションサマースクールを行った。

10日は、幼児を対象にした親子で作る「デコレーションボックス」、小学生を対象にした、夏休み自由研究「コラージュボックス」をテーマに実施。アシスタントの学生と一緒に、デコシール、リボン、お気に入りの布を張り付け、ペイントをするなど楽しく完成させた。

16日と17日は高校生を対象にした「How to make~Make a skirt~」と題し、さまざまなシルエットのスカートをパターンメイキングから制作まで、1日～2日間取り組んだ。

参加者はそれぞれ好きな生地を選び、学生たちとコミュニケーションを図りながら、かわいいスカートを完成させた。



## 経理発信情報 Vol.9 ～観光情報サークル～

私達観光情報サークルは、現在部員4名と少ない人数ですが、学園の皆様から旅行の希望地やアイデアを募集し、それらを基に旅行プランを提供するという活動を行っています。普段授業で学んでいる知識を活かしながら、私自身も旅行が趣味ですので、夏休み等を利用しながら自分で立てたプランで各地を回っています。そして、その経験を学園の方々に伝えて行きたいと考えています。

今後は旅行の相談はもとより、就職活動の際に受験地まで安く行きたい方、お薦めのスポット等の相談もお待ちしておりますので、是非、青森中央経理専門学校3階へ足を運んでみて下さい。ご来店お待ちしております。

(青森中央経理専門学校観光コンシェルジュコース2年  
観光情報サークル部長 安田 健瑠)



## おすすめ図書 vol.8

青森中央文化専門学校 佐々木 美保子先生  
『FASHION DESIGN BASICS  
世界共通、ファッションデザインの基礎知識』  
Richard Sorger, Jenny Udale 著 (ピー・エヌ・エヌ新社, 2010)

服飾を学びアパレル業界で働きたい人に、ぜひ読んで頂きたいお勧めの一冊です。

世界中のファッションを学ぶ専門学生や大学で愛読されているこの図書は、デザインの基礎知識を解説していることはもちろん、教科書には載っていない有名ファッションデザイナー（ヴィヴィアン・ウエストウッド、アレキサンダー・マックウイーン、川久保玲ほか）の言葉や、多くの写真はとても魅力的です。

デザイナーのコレクション発表のために、業界を知る・リサーチ・コンセプト決め・デザイン・制作・発表と、いろいろな役割（職種）の人がかわり作り上げていく過程は、ファッションショーの企画・制作・発表の参考になるだけでなく、ファッション業界への就職を目指している方には、就職活動の予備知識となり、おおいに参考になると思います。

## ファッション通信 vol.8

### 【2013年秋冬オススメ color】

この秋冬はブルーが新鮮です。スポーツアイテムやデニムアイテムに代表されるブルーですが、今季はモダンムードを意識したトレンド色としてブルーが提案されています。

ロイヤルブルー（古代ローマ時代から高貴な地位の象徴）やウルトラマリン（ラピスラズリのような鮮やかな青）のように、「紫みの青」がキーワードです。

日本では古くから藍染の色としてもなじみが深い青ですが、今シーズンはこれまでと違った色みや組み合わせにチャレンジしてはいかがでしょうか。



(デザイン画：服飾高等課程 田中 瑛哉樹)

## 卒業生ピックアップ No.21

青森中央文化専門学校 平成24年度卒業  
サンヨーソーイング 勤務 木村 有希さん

私は、青森中央文化専門学校のアパレル専攻でパターンメイキングを学び、今はサンヨーソーイングという会社でCADオペレーターとして働いています。専門学校で学んだことを最大限にいかせる仕事に就けて、良かったと思っています。

デザイナーとシルエットパタンナーが考え、作り上げたパターンを綺麗な仕上がりになる様、クオリティをあげつつ調整するのが仕事です。細かな作業ばかりで色々なルールがあり、覚えるのはとても大変です。

ですが、縫い上がったものを見て、自分が手を加えた洋服が全国にまわり販売されると思うと、すごい仕事なんだと思います。

まだまだ新入社員で学ぶことばかりですが、少しずつ知識を増やし、会社の役に立っていけるように頑張っています。



# インフォメーション

## 学生公演 12月21日開催！

### 青森中央文化専門学校 Bunka Fashion Live 2013

今年のテーマは「THEATRE,yours=」～私の服、あなたの服、私たちの服～。幻想的なデザインの衣装をはじめ、学園祭コスチュームショー「Emotional game」で発表した「喜・怒・哀・楽・無表情」を表現したオリジナル作品、卒業制作作品の他、ファッション界に憧れを抱く青森スクールガールズモデルも登場し、ステージを盛り上げる。

また展示ブースに於いて、ファッション甲子園入賞作品の展示も行う予定である。

### 青森中央短期大学幼児保育学科43期生卒業公演

今年度のミュージカルの演目は白雪姫。原作をリメイクし、シナリオの制作から音楽、造形、キャストという三分野に分かれ、オリジナリティあふれる白雪姫をめざしている。

卒業公演は今年で6年目となり、二年間の集大成としての公演という位置づけで学生たちは臨んでいる。白雪姫を通し、今年のテーマ「本当の美しさとは」という問いを考えるきっかけとなるステージになるよう、学生たちは今まさに一丸となって取り組んでいる。



青森中央文化専門学校



青森中央短期大学 幼児保育学科

### 開催情報

日時：12月21日（土） ①12：30～ ②15：20～

会場：フェスティバルシティアウガ

5階AV多機能ホール

（青森市新町1-3-7）

※入場無料

## 青森県福祉・介護人材確保緊急支援事業

10月5日、高見のっほ氏を講師に迎え、「5歳の記憶～ノッポ流人の付き合い方～」が開催された。高見氏は、「大人と子ども」を「大きい人、小さい人」として捉えるという、付き合い方の基本についてお話しされた。

1967年から20年以上にわたり、NHK教育テレビ「できるかな」のノッポさんで活躍した高見氏の、年齢を全く感じさせない体の動きと、優しさ・慈愛に満ちた表情は、会場内の人々の心を惹き付けた。

続いて行われた幼児教育講師・古家喜代美さんの「ふれあい遊び、手話でうたおう」では、会場内がもりあがり、見知らぬ同士でも笑顔の交流がうまれるなど、体も心も温かいひと時となった。

今回は、11月10日に「ひとり芝居ノッポさんの宮沢賢治」が開催される。高見氏が作り出す宮沢賢治の新しい世界を、ぜひお楽しみいただきたい。

### ◆ひとり芝居ノッポさんの宮沢賢治

ぼくは賢治さんが大好き！

日時 平成25年11月10日（日）

①11：00～ ②14：30～

各回とも定員200名。要事前申込

会場 青森県立美術館シアター



## 新看護棟・新2号館の進捗状況報告

平成26年2月竣工を予定している新看護棟・新2号館ですが、5月に工事の無事を祈る起工式を執り行いました。現在は、躯体（柱・梁）工事がほぼ完了し、建物のボリュームが認識できるようになりました。

完成までご不便をおかけいたしますが、ご理解いただき、新しい学生の学びの場の誕生にご期待ください。

### 【新看護棟】



外観イメージ



図書館ラウンジ・commons

### 【新2号館】



外観イメージ



アクティブラーニング教室

# 後期開催行事案内

## 青森中央学院大学サテライトキャンパス FRIENDLY WINDOW

所在地：青森市新町2-7-13（新町通り柳町交差点）

開館日 月・火・木・金・土（祝日を除く） 開館時間 11:30～19:00

### ● FRIENDLY WINDOW 市民セミナー 共通テーマ「グローバルと青森」

対象：一般

日 時	テーマ	講 師
11月 8日(金) 14:00～15:30	「津軽」からの跳躍 -陸羯南の思想形成と日本ナショナリズム	韓国・東義大学校人文大学日語日文学科 助教授 鈴木啓孝氏
11月25日(月) 15:30～17:00	近世の北方世界と青森県 ～異人・異文化との接触～	青森県立郷土館研究主幹 本田伸氏
12月 6日(金) 14:00～15:30	ロシアから来たキリスト教と明治の青森	筑波大学人文社会系助教 山下寿美礼氏
12月20日(金) 14:00～15:30	近代青森市における教育の風景	青森中央短期大学教授 北原かな子

### ● ライフステージに応じた食育講座

対象：一般

日 時	テーマ	講 師
11月 5日(火) 14:00～15:30	地域の食文化について	あおもり食育サポーター 大森頼子氏

## 青森中央学院大学・青森中央学院大学大学院

### ● 公開連続講座「わが郷土の歴史・産業・文化等について学ぶ」

時間：13:00～14:20 会場：学術交流館2階

日 程	テーマ	講 師
10月30日(水)	青森県のまちづくり①「地域づくり『地域資源を徹底的追及』」	NPO 法人 ACTY 理事長・ 青森県教育委員 町田直子氏
11月13日(水)	青森県の農業③「私の農業体験から」	五所川原市転作協議会副会長 笠井実氏
11月20日(水)	酒づくりとまちづくり	八戸酒造株式会社代表取締役社長 駒井庄三郎氏
11月27日(水)	ショッピングセンターにおけるカルチャーの役割	R A B 学苑常務取締役 松原晃二氏
12月 4日(水)	青森県の博物館①「弘前市立博物館の魅力」	弘前市立博物館学芸員 三上幸子氏
12月11日(水)	安藤昌益の思想と生涯	八戸歴史研究会会長 三浦忠司氏

### ● 拡大てつがくカフェ@青い森シンポジウム

会場：学術交流館2階

日 時	テーマ	内 容
11月16日(土) 13:00～16:30	わたしたちの地域活性 ～青森の付き合い方6パターン～	第1部 問題提起「私たちは青森をどう豊かに生きていけるのか？」
		第2部 ディスカッション パネラー ノースブレッジ（グリーンハウス事業部）ガイド 太田泰博氏 百姓（100-show）、青森県恥事 田村余一氏 十和田市現代美術館メディア担当顧問 小林ベイカー央子氏 コミティウム☆あおもり 奈良尚之氏 まちおこしゲリラ集団「あおぞら組」代表 島康子氏 焰ねぶた実行委員会初代代表 工藤慎也氏 コーディネーター 青森中央学院大学教授 鈴木克成

## 青森中央短期大学

### ● 公開講座 むきあう～現在・過去・未来～

日 程	内 容	講 師	会 場
12月14日(土) 10:00～12:30(9:50集合)	クリスマス親子クッキング	木村亜希子	1号館2階調理実習室

## 青森中央経理専門学校・青森中央文化専門学校

青森中央経理専門学校・青森中央文化専門学校

会場：学術交流会館 934教室

日 程	内 容	対 象
11月 2日(土) 10:00～12:00	学生によるパソコン教室 年賀状作成	一般

## 認定こども園附属第一幼稚園・第二幼稚園・第三幼稚園 中央文化保育園 浦町保育園

●幼稚園平成26年度入園願書受付 11月1日(金)より各園にて随時受付 ★入園願書配布中！

●イルミネーション点灯式

今年も恒例のイルミネーションを行います。光の競演をどうぞお楽しみください。

■点灯期間 12月～1月末日 ■点灯時間 16:00～22:00



## 「こぶしの花」掲載写真募集！

こぶしの花編集委員会では、「こぶしの花」（表紙）に掲載することを目的に、写真作品を募集しています。現在、12月発行予定の89号表紙掲載写真を募集中です。学園内の風景を題材に、皆さんの力作をお待ちしています。

■89号応募締め切り：12月26日

■応募先メールアドレス：kobushiphoto@aomoricgu.ac.jp

※応募の際、メールの表題には「こぶしの花写真応募」、メール本文には「学部学科・学籍番号・氏名・（電話番号）」を記入してください。

※本応募は、投稿の資格は青森田中学園在学生在が撮影した未発表作品に限ります。

※本応募に関するご質問等は、こぶしの花編集委員会までお問合せ下さい。

お問合せ先：kobushiphoto@aomoricgu.ac.jp



携帯から応募の際は  
コチラをご利用下さい

青森田中学園報「こぶしの花」第88号

発行日：2013.10.15

発行：学校法人 青森田中学園

〒030-0132 青森市横内字神田12

TEL：017-728-0131

FAX：017-738-8333

<http://www.aomoricgu.ac.jp>

<http://www.chutan.ac.jp>

## 「こぶしの花」編集委員

### 編集長

北原かな子  
坪谷 輝子  
岩葉 悦子  
中田 尋美

### 加藤 澄

佐藤 紋子  
赤坂 敦子  
高橋 晴美

### 学生記者

久保 咲絵	相馬伽奈子	新山 雅貴
齋藤 景一	須藤 友英	豊島絵里菜
倉内 実来	平井 麗奈	信太佑木子